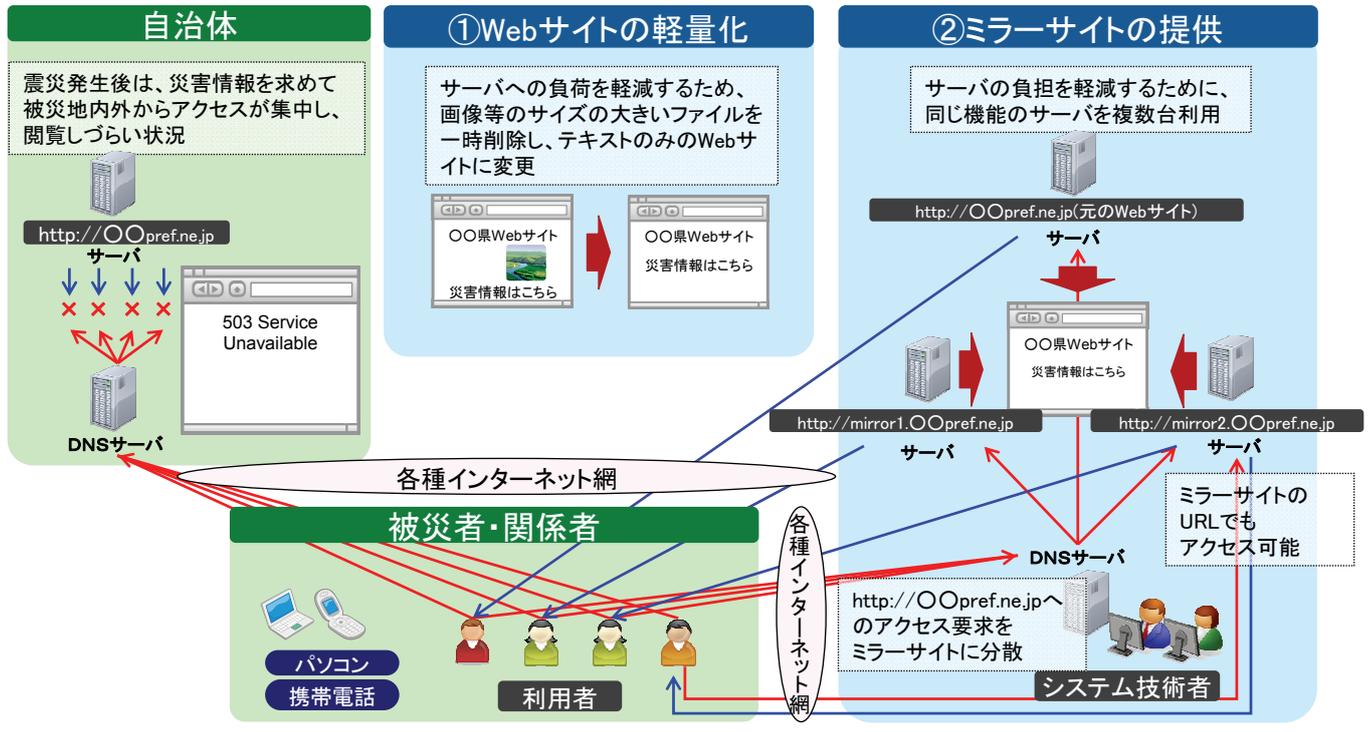
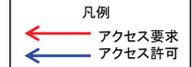


事例11 自治体の公式Webサイト等の負荷軽減

Webサイトの軽量化

ミラーサイトの提供

■ ホームページへのスムーズなアクセスを可能にする、Webサイトの軽量化やミラーサイトの提供等



※①②はそれぞれ別の異なるサービスです

解説

1) 背景・ニーズ

自治体等の公式Webサイトは、災害情報を得るための最も有力な情報源の一つです。そのため、災害発生後は公式Webサイトへのアクセスが激増します。

災害時等情報の収集手段に限られる中では、公式情報を常に掲示し続けることが非常に重要であり、アクセスの集中によりサーバの機能が停止しないよう対策が求められます。

2) 事例の概要

- 岩手県では、東日本大震災発生後に公式Webサイトをテキスト情報のみに切り替えました。これにより、サイトを表示する際の情報量を減らし、サーバにかかる負荷を軽減させることができました。
- また、公式Webサイトへのアクセスを、ミラーサイト(異なるサーバに構築された、公式Webサイトと同様のサイト)や、キャッシュサイト(検索エンジンに一時的に複製されたサイト)へ誘導する方法もあります。これにより、公式Webサイトのサーバにかかる負荷を分散させ、サーバの機能停止を防ぐことができます。
- ヤフー株式会社では、各省庁や自治体、交通機関など275機関の公式Webサイトのキャッシュサイトを提供しました。公式Webサイトで更新された内容は、60秒以内にキャッシュサイトへ反映されました。

事例のメリット

○大量のアクセスに対応できる

Webサイトにかかる負荷を軽減することで、大量のアクセスが集中しても継続的に情報を提供し続けることができます。

○サービスの導入・利用が容易にできる

ミラーサイトはクラウド基盤上に構築されるため、庁内のシステム基盤を直接増強しなくても、アクセス状況に応じて柔軟に対応することができます。

活用に向けた留意点

災害発生後に急遽対策を検討するのではなく、平常時から自治体と民間事業者等との連携を進め、災害発生後の実施体制、運用ルール、段取り等について、予め準備しておくことが重要です。